

ドロップ・サイト・デイリー、3月13日：ヘグセット氏によると、イラン国内で1万5000カ所の標的が攻撃を受けた；レバノンは「限界点」に近づいている；米国はロシア産原油に対する制裁を一時的に解除した

脇浜義明訳 *脚注は訳注

イラン戦争

***米・イスラエルのイラン爆撃14日目**：13日、テヘラン市内と周辺地域が激しく爆撃され、プーナク、マルズダラン、シャフル・レイ、ラヴァサン、ザファラニエ、テヘラン・パルスなどの地区で爆発音が聞こえた。パレスチナ人を支援する国家主催の年次集会「クッズ・デー（エルサレムの日）」に数千人集まっているところも攻撃された。イスラエル軍がペルシャ語のXアカウントで避難勧告を出していたにもかかわらず集会が開催された。集会の中心地の近くのフェルドゥシ広場が空爆された。イラン国営のプレスTVは爆弾の破片で1人が死んだと報じた。イラン最高国家安全保障会議のアリ・ラリジャーニ議長やゴラムホセイン・モフセニ・エジェヒや他の政府高官も集会に参加していた。

***死傷者数**：イラン保健省によると、2月28日の米・イスラエルの攻撃開始以降、少なくとも1,444人のイラン人が死亡し、18,551人が負傷した。

***トランプ大統領、またもやイラン脅迫**：昨夜トランプ大統領は自分のSNSトゥルース・ソーシャルで[声明](#)を発表し、「イラン海軍は壊滅、空軍ももはや存在しない。ミサイル、ドローン、その他あらゆる兵器は破壊され、指導者は地球上から消え去った。我々は比類なき火力、無限の火薬、十分な時間を持っている。今日、この頭のおかしいクズどもにどんなことが起きるか見るがよい」と述べた。

***ヘグセス国防長官、イランで1万5000箇所を攻撃した**：ピート・ヘグセス国防長官は13日の記者会見で、イラン国の1万5000箇所以上を攻撃したと言った。これは、開戦以来1日あたり1000箇所以上を攻撃したことになる。彼はイランの指導者を「彼らは必死に身を隠し、地下へ潜り、ネズミのように怯えている」と言ったが、13日の「クッズ・デー」にはイラン高官らが参加している映像がある。また彼は、イランの最高指導者モジタバ・ハメネイ師が「負傷し、おそらく顔を怪我した」と言った。ドロップ・サイトの取材でイラン高官は、ハメネイ師が2月28日の開戦の時の攻撃で負傷したと認めたが、負傷の程度については何も言わなかった。

***イラン赤三日月社、民間施設2万1700箇所以上が攻撃されたと発表**：イラン赤三日月社の代表は、米・イスラエルの攻撃で、民間施設2万1720箇所が標的になったと述べた。住宅が1万7353戸、商業施設が4122箇所、医療センターが160箇所、学校が69校、赤三日月社の16支部などで、救援用車両21台と救急車19台も攻撃された。赤三日月社の職員が1人が死亡、7人が負傷した。医療分野全体では、医療従事者12人が死亡し、78人が負傷した。

***ハメネイ師、ホルムズ海峡封鎖継続と報復を誓う**：3月12日、イランの新最高指導者セイエド・モジタバ・ハメネイ師は国民向けの初演説で、ホルムズ海峡閉鎖継続を誓い、米国とイスラエルへの「報復」を約束した。国営TVが読み上げたハメネイ師の[声明](#)の中で、師は「ホルムズ海峡封鎖という手段を続けなければならない」と述べた。56歳になるハメネイ師は、戦争開始となった米・イスラエルの攻撃で父親が殺害され、その後専門会議によって父親のあとを継ぐ最高指導者に選出された。12日が公けの場に姿を見せた最初である。

***ホルムズ海峡の混乱が続く中、ブレント原油価格が100ドルを突破**：通常世界の石油輸送量の20%が通過するホルムズ海峡がほぼ完全に封鎖されている中、ブレント原油価格が2022年7月以降初めて1バレル100ドルを超えて取引を終えた。ニューヨークタイムズ紙によると、2月28日以降、少なくとも16隻の船舶がホルムズ海峡とその周辺で攻撃を受けており、一番最近の2件の攻撃はイラクのタンカーに対してで、イラクは南部港湾の石油輸出ターミナルの操業を停止せざるを得なくなった。12日、クリス・ライト米エネルギー長官はCNBCの取材で、米軍は今のところホルムズ海峡を航行するタンカーを護衛する「準備ができていない」と述べた。しかし、米国主導の多国籍海軍連合が今月下旬か4月上旬に護衛を開始するかもしれないと、米政府高官が言った。

***イランのゲシュム島の観光客キャンプがドローン攻撃を受け、民間人3人が死亡**：ゲシュム島の警察司令官によると、観光客キャンプが米・イスラエルのドローン攻撃を受け、3人が死亡し、1人が負傷した。5日前にも同島の海水淡水化プラントへ米・イスラエル軍の攻撃があり、約30の村への給水が途絶えた。

***イスラエル軍、テヘランのバシージ¹の検問所を攻撃：**イスラエルは、バシージ民兵が首都周辺に防塞を建設していると主張して、テヘラン各地のバシージ検問所と隊員を爆撃したと発表し、イラン政権の中核システムと基盤に打撃を与える攻撃を続けると宣言した。バシージは IRGC 傘下の義勇民兵組織である。イラン国営メディアによれば、過去 24 時間で少なくとも 10 人のバシージ隊員がドローン攻撃で死亡した。

***イラクで米空中給油機墜落、乗員 6 人死亡：**[中央軍 \(CENTCOM\)](#)によると、イラク西部で KC-135 ストラトタンカー空中給油機が墜落し、乗員 6 人全員が死亡したことが確認された。中央軍は、友軍が支配する空域で発生した事故で、「敵の攻撃または味方の誤射によるものではない」と述べたが、詳細は公表していない。イラク・イスラム運動 (IRI) が犯行声明を出している。

***イラクのマフムール近郊のイラク軍陣地がドローン攻撃され、フランス人兵士が死亡：**イラク当局によると、ニネベ州マフムール地区のイラク軍陣地がドローン攻撃を受けた。4 機のドローンによる攻撃である。その後、フランスのマクロン大統領が、ペシュメルガ²とフランスの共同基地に駐留していたフランス兵 1 人が死亡したと発表した。イラン戦争開始後初のフランス兵の死亡であった。他に少なくとも 6 人のフランス兵が負傷した。

***オマーンで 2 人死亡：**オマーン国営通信によると、13 日ソハール州でドローン 1 機を撃墜したが、2 人が死亡した。

***IRGC、バーレーンの米第 5 艦隊司令部を攻撃：**イラン革命防衛隊 (IRGC) は 13 日未明に、バーレーンのマナマにあるミナ・サルマン港の米第 5 艦隊司令部を標的に、ミサイルとドローンによる 2 波の攻撃を実施したと発表した。IRGC は、対ドローン・システム、ドローン保管庫、燃料タンク、支援設備、米軍関係者が集結していた場所を、巡航ミサイルと弾道ミサイルと自爆ドローンを使って攻撃したと言った。さらに、「神の恵みにより、ホルムズ海峡の封鎖は継続している」と言った。

***空中迎撃の残骸の落下でドバイの工業地区で火災：**アラブ首長国連邦政府は 13 日、ドバイの工業地区で火災が発生したと発表した。当局は迎撃作戦が成功したが、破壊した残骸の破片がドバイ中心街の建物の壁を損壊し、高層ビル群の一部から黒煙が立ち込めたと言った。負傷者の報告はない。

***IRGC、ミサイルとドローンの攻撃で米軍空母エイブラハム・リンカーンに損傷を与えたと主張、一方米国は「接近しすぎた船舶」に発砲したと主張：**アナドル通信によると、IRGC は 13 日未明、地域作戦でミサイルとドローンで攻撃し、米空母エイブラハム・リンカーンに大きな損害を与えたと主張した。一方、米軍は「今週初め」エイブラハム・リンカーンに接近した船舶に発砲したと言っており、これらが同一の事件のことを言っているのかどうかは分からない。エイブラハム・リンカーンはニミッツ級の原子力空母で、長年に渡り中東とインド太平洋における米軍の作戦展開の中心であった。

***米国、ロシア産原油の海上輸送への制裁を一時解除：**トランプ米政府は 12 日、高騰するエネルギー価格を安定させるために、すでに海上輸送中のロシア産原油への制裁を解除し、買い手国へ届くことを[許可した](#)。この措置は 4 月 11 日まで続け、スコット・ベッセント米財務長官は、これによって約 1 億 3 0 0 0 バレルの原油が市場に供給されるので、ブレント原油価格の高騰の抑制につながるかもしれないと言った。しかし、13 日ドイツのフリードリヒ・メルツ首相は米国のロシア産原油制裁緩和を批判した。「G7 加盟 6 カ国は、これは正しいシグナルではないとはっきり言っている」とメルツは言った。

レバノン

***死傷者数：**レバノン保健省によると、イスラエルのレバノン攻撃による死者数は少なくとも 687 人に達した。3 月 2 日以降、救急隊員が 18 人死亡し、負傷者は 45 人となった。

***イスラエル軍、レバノン各地を攻撃：**国営通信社 NNA によると、13 日イスラエル軍は南レバノンのサイダの住宅ビルを攻撃し、8 人が死亡し、9 人が負傷した。同じく南レバノンのカーラへの攻撃で、少なくとも 2 人が死亡、2 人が瓦

¹ イラン革命防衛隊傘下の民兵組織。

² イラク領クルディスタン自治政府の軍事組織。

礫に下敷きになっている模様。12日の朝、イスラエル軍はベイルート市内の4か所——南郊外のサン・テレーズ、中心部のゾカク・アル・ブラット、中心部近くのバシュラ、ハダトにあるレバノン大学理学部である——を攻撃した。同大学キャンパスへのドローン攻撃で、中庭にいたフセイン・バジ学部長とモルタダ・スルール教授が死亡した。緊張が激化しているが、大学への直接攻撃は初めてであると政府高官が言った。イスラエルは大学攻撃をみとめ、スルール教授がヒズボラ工作員であったと、証拠も示さずに主張した。

***イスラエルの攻撃で一家8人が死亡：**サハト・ニュースが引用した地元報道によると、ティルスへのイスラエル軍の空爆で一家8人が死亡した。その家の父親は空襲の後に帰宅して、爆発で家族の死体の肉片がばらばらに飛び散っていて、5歳の娘の死体も同じようにバラバラになっているのを見つけた。

***イスラエル国防相、レバノンの民生インフラへの攻撃を認める：**13日、イスラエル軍はレバノン北部と南部を結ぶ地点になるリタニ川の橋を標的に爆撃した。イスラエルのカッツ国防相は、「これは始まりにすぎない」と述べ、「レバノン政府はヒズボラを武装解除するという約束を果たさなかった。その代償を我々の国家インフラ攻撃によって払うことになるだろう」と言った。

***レバノン避難民、「限界点に近づく：**[ノルウェー難民評議会 \(NRC\)](#)によると、レバノンの避難民増加が加速し「限界点」に近づいている。国民の7人に1人が家を追われて避難民になっている。公式統計によると、3月2日以降、少なくとも81万6000人が避難民となった。イスラエル軍の避難命令は、レバノン国土の14%にあたる1470平方キロメートルに出されている。ノルウェー難民評議会のレバノン事務所のモーリーン・フィリポン代表は「破壊と避難民の規模は刻々と拡大している。このような無差別爆撃はやめなければならない」と述べた。

***イスラエル北部へミサイル攻撃：**ヒズボラはイスラエル北部にロケット弾を発射したと発表、イスラエルノザルジル村で約30人が負傷した。

ガザ・ジェノサイド、西岸地区、イスラエル

***イスラエル国防軍、パレスチナ人囚人への性的虐待容疑者兵士の起訴を取り下げた：**エルサレム・ポスト紙によれば、イスラエル国防軍法務総監のイタイ・オフィールは、スデ・テイマン軍刑務所でパレスチナ人被拘禁者への性的暴行容疑で起訴されていたイスラエル兵5人に対する起訴を取り下げた。理由として証拠と手続きに問題があると言った。容疑者兵士らは、鋭利なものを被拘禁者の肛門へ入れるアナルセックスを行ったとされ、医療報告書では囚人の肋骨骨折、胸部外傷、手術を要するような穴が直腸にあいていることが確認された。その暴行の様子を兵士たちが面白がって映した動画が、軍の弁護士によってリークされ、その弁護士は辞任させられた。イスラエル・カッツ国防大臣は起訴取り下げ決定を歓迎し、この事件を「イスラエル国防軍兵士に対する血の中傷」と呼び、軍の法律制度は「戦争で英雄的行動をした」兵士を守るために使うべきだと言った。

***イスラエル、ガザへの援助物資搬入制限を強化：**「ウルトラ・パレスチナ」³によると、イスラエルはイラン戦争を利用して、援助物資搬入を必要量の30%にまで減らし、外国で治療を受ける必要がある重病者の出国を停止するなど、ガザの人道危機を深めている。ガザのパレスチナNGOネットワーク代表のアムシャド・アッシャワは「ウルトラ・パレスチナ」に対し、ラファ・クロッシングは依然として完全閉鎖され、ケレム・シャローム・クロッシングは部分的に開かれているだけで、停戦協定で定められた1日600台ではなく、1日200台程度の支援物資トラックの通行を許可するだけだと語った。国連は、イスラエルの制限のために食料配給量が半減したと発表した。病院は、パーツや燃料の不足のために発電機の不調が増加しており、先月は昆虫の大量発生に関連した感染症疑惑が2万3000件報告された。

米国ニュース

***ミシガン州でシナゴーク襲撃事件：**ドロップ・サイトの共同創設者で記者のライアン・グリムによると、昨日ミシガン州で爆発物を積んだトラックでシナゴークに突っ込んだアイマン・ガザリ容疑者は、イスラエル軍のレバノンの町マシュ

³ パレスチナ関連（イラン戦争も含む）のニュースを報道するアラビア語メディア。他にこの語はイスラエルの極右やパレスチナの左翼運動を表わすことがある。

ガラへの空爆で家族数人を殺害されていた。警察の報道機関への発表によると、ガザリ容疑者はウェストブルームフィールドにあるシナゴグ「テンプル・イスラエル」の扉を突き破った後、死亡した。シナゴグ関係者の発表では、負傷者も死者も出なかった。ガザリの家族に近い関係筋がドロップ・サイト記者に語ったところによると、ガザリは襲撃前夜、イスラエルに殺害された兄弟、姪、甥の写真を WhatsApp に投稿した。

*** ROTC (予備役将校訓練課程) 教官死亡、テロ事件として捜査：**3月12日、バージニア州のオールド・ドミニオン大学で銃撃事件が発生し、ROTC 教官のブランドン・A・シャー米軍中佐が死亡し、他に兵士2人が負傷した。当局はテロ事件の可能性があると捜査している。銃撃犯と見られるモハメド・バイラー・ジャロー容疑者(36歳)は州兵で、以前にテロ関連容疑で起訴されたことがある。連邦捜査当局の発表によれば、彼は午前11時直前に ROTC 教室で銃撃事件を起こしたが、射殺された。捜査当局は、以前のテロ容疑は、イスラム国への物的支援未遂で、彼はその罪を認め、2024年に釈放されていた。

*** AIPAC (米国・イスラエル公共問題委員会)、イリノイ州下院の4議席選挙に1500万ドル投資：**イリノイ州第9選挙区の民主党下院予備選挙では、エヴァンストン市長の進歩派のダニエル・ビス候補と政治経験のないキャット・アブガザレの一騎打ちの体となっている。しかし、AIPAC のスーパーPAC (政治活動委員会) はイリノイ州議会上院の議員のローラ・ファインを支持し、彼女の選挙運動に多額の資金を投じている。約400万ドルの AIPAC 関連の団体からの資金提供である。イリノイ州の民主党下院予備選挙は3月17日に行われる。イリノイ州下院選挙における「ダークマネー」に関する詳細は、地元記者マシュー・イーディの[記事](#)を参照のこと。

*** 連邦検事ジェイ・クレイトン、捜査対象企業の株を所有：**トランプ大統領が指名したニューヨーク南部地区連邦検事代行のジェイ・クレイトンは、自分の事務所が行っている捜査の対象である複数の会社に160万ドル以上を投資していることが、調査報道メディア『ザ・レヴァー』が入手して調べた倫理的開示文書から明らかになった。クレイトンは、かつて会長を務めたことがあるアポロ・グローバル・マネジメントの株式を大量に持っているほか、ジェフリー・エプスタインへの議会調査に名が挙がっている大手銀行や、米軍の攻撃後のベネズエラ石油部門の変化から利益を得る立場の石油会社にも投資している。しかも、彼はエプスタインに関する捜査と、司法省のニコラス・マドゥロ大統領に対する訴訟を担当しているのだ。彼の利益相反に関する詳しい報告は、[「ザ・レヴァー」](#)のウェブサイトで見られる。

*** コロラド州の食肉加工業の労働者、スト予定：**コロラド州の食肉加工会社の JBS の労働者3,800人が16日の月曜日にストライキを執行する予定。食肉業界では銃十年ぶりのストとなる。労働者の契約は昨年7月に期限切れとなり、その後全米食品商業理王道組合(UFCW)第7支部は、新たな契約更新を目指して会社側と20回以上交渉してきたと言っている。

その他の国際ニュース

*** 中国、パキスタン・アフガニスタン紛争の解決に向けて仲介：**[ロイター通信](#)によれば、中国のパキスタン・アフガニスタン紛争への仲介が効果を上げている。2,600キロの国境沿いではまだ小競り合いが続いているけれど、中国特使が両国間を行き来し、交渉を促している効果で、パキスタンの空爆は停止し、地上戦も鎮静化している。パキスタン政府高官3人がロイター通信に対し、中国の働きかけが戦闘緩和に役立っていると述べた。この紛争は、2021年にタリバンが政権に復帰してから、両国にとって最悪の事態に発展した。

*** スーダン軍のドローン攻撃で、国境付近の市場で民間人4人死亡：**スーダン軍がスーダンとチャドの国境付近にあるアディコン市場の燃料地蔵庫を攻撃し、爆発となり、4人が焼死した。国境なき医師団(MSF)によると、民間人23人(女性4人、15歳未満の子ども7人)がチャドのアドレにある MSF が支援する病院で治療を受けた。MSF は、これは1か月の間にアディコンへのドローン攻撃の2度目になり、スーダン内戦の最大の犠牲者は無関係の民間人であると言った。12日、国連は、スーダン国内のドローン攻撃で、3月4日以降200人以上の民間人が死亡したと発表した。また、国連は、紛争がハルツーム南部の白ナイル州にも拡大しており、即応支援部隊(RSF)が学校、診療所、電力インフラを標的にドローン攻撃をしていると言った。

***セネガル、厳格な反LGBTQ法を可決：**セネガル議会は、同性間の性行為に最長10年の懲役刑を科し、「同性愛の促進」を犯罪とする法律を可決した。賛成135票、反対0票、棄権3票の圧倒的多数の可決であった。あとはバシロウ・ディオマイエ・ファイエ大統領の署名で正式に成立する。

***南アフリカ、新米国大使を召喚：**南アのロナルド・ラモラ外相は、南アのイランとの関係、アパルトヘイト時代の不平等を是正するためのアファーマティブ・アクション法、白人地主から補償なしで土地収用を認めたと土地改革法など、南アの政策を公然と批判した新任の米国大使のレオ・ブレント・ボゼル3世を召喚した。ボゼル大使はまた、「物議をかもした「ボーア人を殺せ」というスローガン」を是認した裁判の判決を、ヘイトスピーチの使用と認めたと非難した。米国から南ア大使の追放や米国によるG20サミットから南ア排除の動きなどから、米政府と南ア政府の間の緊張が高まっている。

***ソマリア、ソマリランドへのイスラエル軍基地設置に警告：**12日、ソマリア政府は、イスラエルがアデン湾に面した戦略的に重要な港湾都市ベルベラ近郊の分離地帯のソマリランドに軍事基地の建設を検討しているという報道を受け、ソマリア領土を外国の軍事作戦に利用することは許さないと警告を発した。アリ・オマル外務担当国務大臣は[アル・ジャジーラ](#)に対し、外国との軍事協定を承認する権限はソマリア連邦政府のみにあると語った。この件に関する背景—イスラエルによるソマリランドの承認がどのように紛争を招いているか—については、こちらの[記事](#)を参照のこと。

***ロシア、ウクライナのドネツク州へのドローン攻撃で、医療従事者8人が死亡と発表：**[ロイター通信](#)によれば、ロシア国防省は12日、今週初めに、ロシア軍が大部分を支配しているドネツク州の医療施設がウクライナのドローン攻撃を受け、医療従事者8人が死亡し、10人が負傷したと発表した。同省は、攻撃された施設は軍事目的で使用されたことは一度もないと言った。ウクライナはこの主張にコメントしなかった。ロイター通信はこの攻撃を自社の調査では確認できなかったと述べている。

***キューバ、米国との「極秘対話」を確認：**キューバのミゲル・ディアス・カネル大統領は、キューバと米国の高官が、長年の対立を解決するために、最近協議を行ったことを確認した。これは、米国との公式協議を行ったことをキューバが初めて公式に認めたことになる。その前から、トランプ大統領がマルコ・ルビオ国務長官とキューバ政府とが連絡を取り合っていると発言するなど、数週間にわたって噂が飛び交っていた。

***コンゴ民主共和国のゴマでフランス人国連職員が死亡：**国連によると、11日早朝、コンゴ民主共和国北キブ州の州都ゴマへのドローン攻撃で、フランス人国連人道支援職員のカーヌ・ビュイ（54歳）と民間人2人が死亡した。ドローンは、救助関係者や外国人が居住するヒンビ地区に当たった。AFP通信が引用した治安筋によると、この攻撃は近くのM23民兵らを標的にしたものだだったが、誤って住宅地域に当たった可能性があるという。地元メディア報道によると、M23の同盟軍AFC連合の政治的コーディネーターのホルネイユ・ナンガーを狙った2機目のドローンはキブ湖に墜落した。M23は、コンゴ軍の犯行だと非難し、政府は調査を行うと発表した。

ドロップ・サイトのその他の情報

***ドロップ・サイト**のライアン・グリム記者は、コリー・ミルズ下院議員（フロリダ州共和党）に、彼のトランプのイラン戦争支持は彼が所有する[武器密売会社](#)と関係があるからかと質問した。ミルズ議員は現在下院外交委員会（特に監視・情報小委員会の委員長）に所属している。彼は、高性能手榴弾などの弾薬の製造・販売・政府機関などに武器に関する研修などを行うPACEMソリューション・インターナショナルや、防衛製品の製造・販売や軍用航空支援サービスを行うPACEM ディフェンスの共同創設者である。彼は両社の株を売却してもう関係ないと主張したが、後にその主張を撤回した。